

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	1 年次 ・ 前期 ・ A 群	
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科	
化学 I (Chemistry I)	担当教員	三原 めぐみ (Mihara, Megumi) 大竹 孝明 (Ohtake, Takaaki)	
	教員室	三原: 一般教育科 3 階 (TEL: 42-9057) 大竹: 一般教育科 3 階 (TEL: 42-9056)	
	E-Mail	三原: mihara@kagoshima-ct.ac.jp 大竹: ohtake@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 1 単位		
週あたりの学習時間と回数	授業 [(100 分)] × 15 回		
[本科目の目標] 化学的な事物・現象についての基本的な概念や原理・法則に対する理解を深め、科学的な探究心を育成する。			
[本科目の位置付け] 中学理科で学習する基本的な知識が必要である。また、内容によっては専門教科における基礎知識も学習する。			
[学習上の留意点] 予習復習をすること。「ダイナミック図説化学」は必ず持参すること。また、配布した資料等は必ず目を通すこと。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 物質の性質と分離	8	<input type="checkbox"/> 混合物と純物質、混合物の分離と精製、物質の三態、粒子の熱運動、絶対温度について理解できる。	p.28～35 の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
2. 物質の成分	6	<input type="checkbox"/> 元素と元素記号、単体と化合物、元素の確認について理解できる。	p.7, 36～43 の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
— 前期中間試験 —		項目 1, 2 について達成度を確認する。	
3. 原子の構造	5	<input type="checkbox"/> 原子、原子核と電子、同位体について理解できる。	p.44～47 の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
4. 電子配置と周期表	5	<input type="checkbox"/> 電子殻と電子配置、元素の周期表について理解できる。	p.48～55 の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
化学実験	4	<input type="checkbox"/> 化学変化(銅の変化)・元素の確認法	
— 前期期末試験 —		項目 3, 4 について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解できる。	
[教科書]	「新編化学基礎」	竹内敬人他 著	東京書籍
[参考書・補助教材]	「ダイナミックワイド 図説化学」	竹内敬人他 著	東京書籍
	「ニューサポート 新編化学基礎」	東京書籍編集部	
[成績評価の基準]	中間・期末試験成績(70%)＋平常点(30%)－授業態度(最大 20%)		
[本科(準学士課程)の学習・教育目標との関連]	3-a		
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]			
[JABEE との関連]			

Memo

---



---



---



---



---